

## 環境掲示板

### 植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 7月4日(日) 13:00~14:30

8月1日(日) 13:00~14:30

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

### Tシャツからエコ布ぞうり作り

主催 ごみ対策課

日時 7月22日(木) 13:00~15:45

場所 三鷹市リサイクル市民工房

対象 特になし

定員 8名(多数の場合は抽選)

料金 無料

申込 往復はがきで7月15日(木)

必着でごみ対策課へ

問合せ ごみ対策課 内線 2534

### 第61回井の頭かんさつ会

主催 井の頭かんさつ会

テーマ「夏の昆虫たち」(予定)

日時 7月24日(土) 10:00~12:00

事前に申込みが必要

### 編集後記

先日NHKの放送で「さわやか百景 東京野川」が放映されました。ホトケドジョウ、サワガニ、カワセミ、コチドリ、キアシシギなどがみるものの心を癒してくれました。都市部にありながら、今も、野川は生き物たちにきれいな水を与え、いい環境を作ってくれています。いつまでも大切にしたいものです。(安達)

参加費 300円

申込み 大原 kapock@parkcity.ne.jp

HP URL <http://www.kansatsukai.net>

### ペットボトルのキャップからピンク ーション作り

主催 ごみ対策課

日時 7月29日(木) 10:00~12:00

場所 三鷹市リサイクル市民工房

対象 小学校高学年以上

定員 8名(多数の場合は抽選)

料金 無料

申込 往復はがきで7月16日(金)

必着でごみ対策課へ

問合せ ごみ対策課 内線 2534

### 夏休み！親子多摩川源流体験講座

主催 社会教育会館

日時 7月29日(木)

場所 山梨県小菅村

対象 三鷹市在住・在勤の保護者と  
小学生

定員 10組(多数の場合は抽選)

料金 1人400円

申込 7月5日(月)~9日(金)に  
社会教育会館へ

問合せ 社会教育会館 0422-49-2521

発行：みたか環境活動推進会議

(愛称 みんなの環境)

連絡先：三鷹市環境対策課

電話 0422-45-1151 内線 2523・2524

E-mail: [kankyo@city.mitaka.tokyo.jp](mailto:kankyo@city.mitaka.tokyo.jp)

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。

# みたか環境ひろば 第26号

2010年7月1日発行

## 国分寺崖線の野草

～ 残したい野草、好ましくない野草 ～

先日、野川の飛橋周辺の野草のうち、人によって外国から運ばれて来た植物(帰化植物)の割合を調べたら、30%以上もありました。近年は、身近な環境にも、帰化植物が増えてきています。

在来の植物で、減少が著しく、絶滅が危惧されている植物は、環境省のレッドリストに記載されています。リストにあっても、まだ身近にみられる植物にはヒイラギソウ、チョウジソウ、エビネ、キキョウ、キンラン、セツブンソウ、イヌノフグリなどがあります。右の写真のチョウジソウは、川辺などの湿ったところに生育します。三鷹市の近くでは、野川公園自然観察園でみることができます。

逆に、帰化植物で、生態系などに特に悪い影響を及ぼす植物12種が、外来生物法で、特定外来生物(植物)に指定されています。現在、野川で見えるのは、アレチウリ、オオフサモ、オオカワヂシャ、オオキンケイギクの4種です。右の写真のオオカワヂシャは、野川の水辺でよく見かけます。オオイヌノフ



チョウジソウ 野川公園5月



オオカワヂシャ 野川6月

グリに似た、小さな花をつけますが、生態系への影響が大きいので、好ましくない植物です。(安達)

# 人と人を結ぶ C-Café プロジェクト

～ 代表の 川上 ちゆきさん にお聞きしました ～

C-Café プロジェクトは、人と人とを結ぶ市民交流事業として、高齢者、青少年、障がいをもった方など、さまざまな立場の人が、「食」を通して社会と繋がる場所をつくる活動を、三鷹市社会福祉協議会と協働で進めています。主な事業である、三鷹市役所別館内の C-Café は、オープンしてから3年余りが経ちました。ここでは、職場体験の受入れ、作業所のオリジナル商品の販売、映画会や地域の夕食会などのイベントも併せて行われています。6月初め、プロジェクトの代表をされている川上ちゆきさんにお聞きしました。

設立のいきさつは、「社会福祉協議会が呼びかけたお茶の間研究会で Café を作って、皆さんが気軽に立寄れるようにしたいとの話し合いから始まりました。一年ほどの準備期間を経て、オープンしました。そのときから市民の健康を考え、地産地消を考えていました。」

活動の進め方については、「無添加、地産地消、無農薬、低農薬、手作り家具にこだわっています。それは最初から実施できた訳ではありませんが、お芋の販売にこられた三鷹オーガニック農園の金子さんと縁ができて、食材のネットワークが段々と広がってきました。今では、三鷹オーガニック農園で野菜づくりも始めています。また、また、毎日出る卵の殻や出汁がらなどの廃棄物についても、金子さんが持ちかえ



C-Café のスタッフとボランティアたち  
(右から二人目が、代表の川上さんです)

り、堆肥にさせていただいています。廃油は、中原の『むうぶ舎』さんで石鹸に加工していただき、店舗販売しています。」

Café の運営について、「ランチメニューは日替わりで提供しています。営業時間は、平日10時半から午後5時です。ランチタイムは混み合いますが、午後のティータイムはゆっくりおくつろぎいただけます。スタッフは、2名だけですが、ボランティアの方が33名ほど登録していて、それぞれの都合のいい時間に働いていただいています。その他に、地域の有機野菜を使用した無添加手作り弁当や天然酵母パンなどを販売しています」とのことでした。

最後に、「市内のあちこちに、同じようなお店を展開することができればいい」と夢を語っていただきました。(安達)

# 野川流域連絡会活動報告会

～ 明日を語ろう いきいき野川 ～

6月13日(日)午後、おおさわ学園羽沢小学校の体育館で、第4期野川流域連絡会活動報告会が行われた。野川の流域で活動をしている市民・団体・行政の委員と一般参加者たち約60名が参加した。

内容は、14団体がパネル出展した情報バザー、分科会の活動報告、羽沢小学校の生徒が作った野川の歌の紹介、午前中の野川の散策の感想、明日の野川についての意見交換などを行った。みたか野川の会も情報バザーにパネル出展した。羽沢小学校の生徒の作ったパネルも



意見交換会の様子

展示された。明日の野川もいきいきすることを願った1日であった。(安達)

## 市役所の窓：私と野菜作り

実家から近くのおばあちゃん家の畑で野菜を作り始めました。これまでに挑戦してきた作物にはパセリ、ナス、長ネギ、トマト、ダイコン、ハクサイ等のメジャーなもの、個人的に気になっていたゴーヤがあります。ナスや長ネギについてはいびつなものもありましたが非常によく出来ました。特にパセリにおいては小さな森状態になってしまい、ちょっと困っているほどです。しかし、ハクサイとトマトは失敗でした。ハクサイは雑草のような味がし、トマトはヘタの部分から実が割れてしまっていました。残念な気持ちになった反面、次こそは成功させようと思っています。ゴーヤはもちろんチャンプルーとして食べました。現在は、

畑に多数の種イモを植えたところで、収穫の時期がとても楽しみです。

最近始めた野菜作りですが、フードマイレージという考え方から地球温暖化防止の活動になっているようです。フードマイレージとは、食べ物が運ばれてきたときの距離のことで、食品の生産地と消費地が近ければ輸送に係るエネルギーは小さくなり、遠くから食料を運んでくると大きくなるというものです。食料自給率の低い日本ではこのフードマイレージは世界中で群を抜いて大きいそうです。これからは節約する省エネ活動に加え、家庭菜園や国産を選択する省エネ活動もしていこうと思います。 環境対策課 渡邊 健作